

＝橋本陣屋跡のことを学ぶ講演会＝

主催：橋本陣屋跡を考える会

後援：八幡市教育委員会

幕末政治・外交史の中の橋本陣屋

京都橘大学准教授 後藤敦史 氏



京阪電鉄の橋本駅前から検出された橋本陣屋跡は、幕末に京都の警衛が重要な政策課題となるなか、万延元年（1860）に築造された陣屋である。慶応元年（1865）に竣工した楠葉台場とともに、幕末政局の動揺や変転をまさに目に見えるかたちで示してくれる遺構でもある。幕末には、日本を取り巻く国際情勢も大きく揺れ動く。本講演では、幕末の政治史と外交史の双方の観点から、橋本陣屋跡、および同遺構を含む淀川沿岸の歴史的意義を明らかにしたい。（同氏からのコメント）

日時

2026年(令和8)3月14日(土)

午後1時30分開場、午後2時開会

場所

橋本公民館 2F 大会議室

(京阪橋本駅下車徒歩3分。駐車場スペース狭小)

□ 資料代 500円 (高校生以下無料)



発掘現場の写真

※ 参加申込み不要

※ 連絡先；足立昌治 090 7882 2082